

5 その他、敷地・建物全体において配慮いただきたい事項

平成30年度に実施する土地活用事業者公募に際して、提案事業者に配慮をお願いしたい事項として、「**区民文化センターを“まちなかの文化施設”として捉え、一体的に開発・まちづくりを考えていただきたい**」という【基本的な考え方】に基づき、いくつかの項目を掲載しています。

具体的に配慮いただきたいこととして、「建物デザインは、このまちのシンボルとなる区民文化センターにふさわしいデザイン性の高いものにしていただきたい」「通り抜け通路や広場、ポケットパーク、中庭などのスペースは文化的な活用ができ、市民の憩いの空間となるような工夫を」「エントランス階には区民文化センターのにぎわいにつながるような店舗や飲食店などを設けていただきたい」等の内容を掲載しています。

(参考)「横浜市都筑区における区民文化センター基本構想 答申」検討の経過

横浜市長の附属機関である「横浜市都筑区における区民文化センター基本構想検討委員会」を7月3日、8月29日、10月2日、11月28日に開催し、11名の委員の皆様にご議論いただきました。

また、都筑区では、文化に関する数多くの多彩な活動が行われていることを踏まえて、区民の皆様アイデアをできるだけ多く聴取するため、**都筑区オリジナル企画「区民文化センターについて考えるアイデアミーティング」**を8月6日、9月10日に開催し、延べ82名の方にご参加いただきました。**お寄せいただいた皆さんのアイデアは、基本構想検討委員会へ情報提供し、基本構想(答申)作成の参考としました。**



(参考) 整備予定地概要、今後のスケジュール

センター北駅前の中川中央一丁目9番1、2(右図)に、「区民文化センター」を民間事業者による土地活用の中で整備する予定です。

[整備予定地 土地全体のスケジュール(予定)]	
平成29年度	土地活用事業者の公募準備
平成30年度	公募実施、事業者の選定
平成30年度～	施設の設計、建設

整備予定地はセンター北駅から徒歩3分
現在「**都筑の文化 夢スタジオ**」がある土地です



【区民文化センターとは】

地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するために、横浜市区民文化センター条例に基づき設置される「地域文化芸術活動の拠点」です。標準的な機能としては、ホール・ギャラリー・音楽ルーム(リハーサル室)・練習室・会議室などを備え、延床面積は約2,800~3,000㎡です。現在、10館の区民文化センター(旭・青葉・泉・港南・栄・神奈川・磯子・鶴見・戸塚・緑)があります。※瀬谷・港北では現在整備を進めています。

基本構想(答申)の詳しい内容や整備の進捗状況については、都筑区役所ホームページをご覧ください。
「都筑区における区民文化センターの整備について」<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/kusei/kikaku/kubunkentou.html>



発行：横浜市都筑区における区民文化センター基本構想検討委員会事務局(横浜市 都筑区役所 区政推進課)
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-1
電話 045-948-2227 FAX 045-948-2399 Eメール tz-plan@city.yokohama.jp

「横浜市都筑区における区民文化センター基本構想 答申」の概要をお知らせします

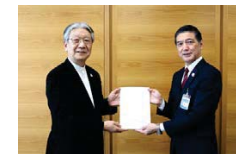
都筑区 区民文化センターニュース 第5号

発行：平成30年1月15日

「横浜市都筑区における区民文化センター基本構想 答申」がまとまりました!

「横浜市都筑区における区民文化センター基本構想検討委員会」での議論を経て、12月21日に、委員会から横浜市に「**横浜市都筑区における区民文化センター基本構想 答申**」が提出されましたので概要をお知らせします。

今後は、この答申を踏まえて、区民文化センターに求める整備水準を検討のうえ、平成30年度に土地活用事業者の公募実施、事業者の決定を目指し、準備を進めていきます。



答申を提出する間瀬委員長と、畑澤都筑区長

都筑区の区民文化センターは、
「**区民が中心となって文化を生み出し、創り上げていく喜び、つなげていく喜び**」を大切に、
あらゆる人が集える場所になるべきとの考えから、次の内容を「**基本構想**」として提言します。
平成29年12月 横浜市都筑区における区民文化センター基本構想検討委員会

1 都筑区の区民文化センターのミッション(目指すこと)

『**都筑に根差した個性ある文化の創造**』をミッションとし、次の4本を柱に取り組みます。

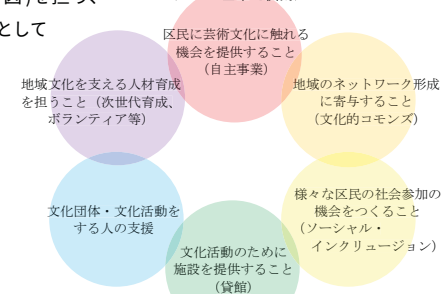
- (1) 文化に触れる機会を、一人でも多くの区民に提供します
- (2) 地域独自の文化や活動、新しい価値や表現を生み出すきっかけをつくります
- (3) 心の充実が得られるまちになるよう、区民と一緒に取り組みます
- (4) 都筑の新たな魅力をつくります

2 ミッションの実現に向けて重要な方針

『**多様性に対応できる、柔軟性を大切にした施設**』を重要な方針として、

区民文化センターに期待される6つの基本的役割(右図)を担う、
区民に最も身近な「**地域の文化芸術活動の拠点**」として
区民に多様な文化事業を提供し、展開していきます。

<6つの基本的役割>



多彩な区民活動が展開されるイメージ

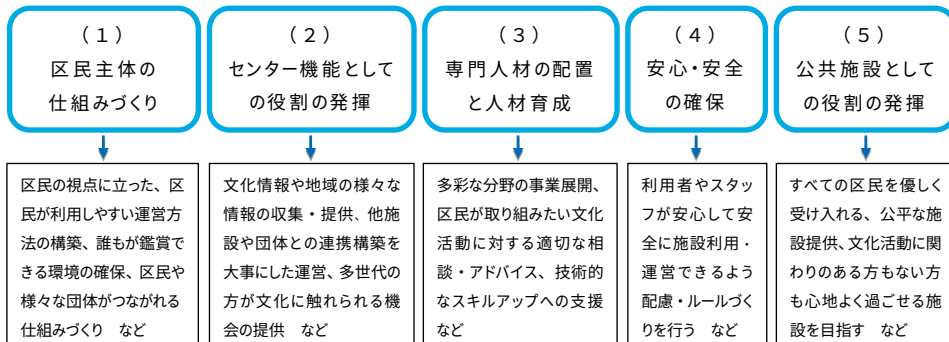
文化事業の実施
施設利用/情報発信/鑑賞事業/普及事業/次世代育成事業/支援機能
/連携機能/人材育成/調査研究

3 施設運営・管理面での配慮事項

基本的な考え方

- ・ 区民の個性を尊重し、**区民の多様で、多彩な活動に呼応し、区民の誰もが利用しやすい運営・管理**を行います。
- ・ 施設の運営には指定管理者制度を導入し、専門性・公平性を確保します。また、運営には、**区民が主体的にかかわれる仕組みを取り入れます。**

..... 運営・管理体制をつくるために大切な5つの柱



4 施設構成

基本的な考え方

- ・ **区民の多様で、多彩な活動に対応できるよう、柔軟性のある施設の活用ができる仕様**とします。
- ・ 周辺文化施設の状況や、区内におけるこれまでの文化芸術活動の状況を踏まえて、**客席数に対して広く、奥行きのある舞台を確保**することを、都筑区の区民文化センターの特徴とします。
- ・ 子どもを含むすべての利用者が安心、安全かつ快適に利用できるよう、バリアフリー化、利便性、安全性、防災性に配慮するとともに、ユニバーサルデザインの視点、多言語による表示を取り入れます。

◆設計理念

- ・ 将来のニーズに対しても対応できるよう、可変性と柔軟性のある施設とします。
- ・ **区民の多様で、多彩な活動に対応するために、各諸室が相互に補完しあい、場合によってはその機能を拡張できる諸室とします。**
- ・ 「みなきたウォーク」「歴史博物館」「都筑民家園」などとの連携や、隣接する「早淵川」「緑道」「商業施設」といった周辺の環境を意識し、より開放的に、外とつながりやすい空間づくりを行います。

◆施設の内容

開放感があり、多彩な区民活動が展開される エントランスホール	<p>★イメージ…一人でも家族連れでも気軽に立ち寄り楽しむことができ、人や文化との出会い・交流も期待できる。／アイデア次第で様々な使い方ができ、立ち寄るたびに様々なグループが企画を展開している。</p> <p>---留意事項---</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ミニコンサートや作品展示など、区民が多様に使える、つながれるオープンなフリースペースとし、極力広いスペースを確保することが望ましいです。 ●施設利用者が交流できるような利用ができるように配慮します。
生きた情報が行き交う 情報コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の文化団体等が情報を発信できるスペースを備えることが望ましいです。 ●ふらっと訪れた人が過ごせるよう工夫するとともに、利用者が作業に使える机、椅子、コピー機、ネット環境、電源等を備えておくことが望ましいです。

分割も合体もでき、発表、創作と多目的に使える ギャラリー・ワークショップルーム	<p>★イメージ…大規模、立体、映像など様々な展示ができ、併せてワークショップもできる。／エントランスとつながって広い空間での利用もできる。</p> <p>---留意事項---</p> <ul style="list-style-type: none"> ●展示壁面（床面からピクチャーレールまで）の高さは3m程度とし、ライティングレール、スポットライトを備えます。 ●可動パーテーションを設置し、展示壁面を確保するとともに、半分に仕切って2つの展示スペースとして使えるようにします。 ●展示利用以外に、創作ワークショップ、ミニコンサート等、多目的に利用できるように配慮します。 ●エントランスホールと一体的な運用が可能なるように配慮します。
舞台を多目的に使える、高機能・高性能な メインホール	<p>★イメージ…オーケストラや学校の吹奏楽部の演奏、大人数でのダンスや演劇、ミュージカル等の利用を想定する。／専門性を備えた設備が設置されていて、幅広い演出ができ、演じる側も、鑑賞側も満足できる。</p> <p>---留意事項---</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多目的な演目に活用できる舞台（可動プロセニウム形式）、可動式音響反射板を備えるホールとします。 ●舞台は、奥行を十分に確保し、演劇やミュージカルなど、大人数が舞台上がる演目にも対応できるよう、できるだけ大きなサイズを確保します。 ●舞台袖面積は、上手・下手それぞれに舞台面積（演技エリア）の2分の1以上の面積をそなえるのが望ましいです。 ●客席は概ね300席とし、車いす席を含むすべての席からの視認性を確保します。 ●ホワイエは、ホールで公演等が行われない場合、エントランスホールと一体的に、ひとつの大きな空間として使用できる仕様が望ましいです。
発表の場としても使える リハーサル室・音楽ルーム	<p>★イメージ…本番さながらのリハーサルが可能であり、小規模で本格的な発表の場としても利用できる。</p> <p>---留意事項---</p> <ul style="list-style-type: none"> ●練習、発表会が可能な機能を備え、防音仕様とします。 ●舞台と同じ広さ・形を確保した上で、周辺に荷物を置いて人が立てるスペースを備えることが望ましいです。 ●壁面に一面鏡（鏡はドアなどで蓋ができる）を設置し、床面は平土間仕様とし、ダンスなどに適したフローリング仕上げとします。 ●美術作品展示、ワークショップ等、多目的に利用できるよう配慮します。
防音仕様の 個室スタジオ	<ul style="list-style-type: none"> ●4名～7名程度の音楽練習などを想定し、大きさの異なる部屋を2～3部屋程度設け、完全防音仕様とします。1部屋はクラシック音楽向きの練習を想定します。
ワークショップや講演会にも 使える 多機能会議室	<ul style="list-style-type: none"> ●創作ワークショップや講座利用以外でも、美術作品展示、楽屋等、多種多様なニーズに応えられるよう配慮します。 ●大きさの異なる部屋を2～3部屋程度設けます。
区民やスタッフが協働できる 事務室	<p>★イメージ…可能な限り区民に寄り添ったオープンな事務室を目指し、区民が気軽に相談できることはもちろん、区民と共に考え連携のアイデアを生み出す場としても使用できる。</p> <p>---留意事項---</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受付カウンターで区民からの相談に応じることも想定します。 ●スタッフ同士の打合せだけでなく、区民への相談に応じられる十分なスペース（6人～8人程度）を確保します。
活動の幅を広げる備品を 収納する バックヤード	<ul style="list-style-type: none"> ●倉庫として利用できる面積を可能な限り確保します。
施設全体	<ul style="list-style-type: none"> ●都筑区のシンボルとなるような、区民文化センターらしいデザイン性の高いものとします。 ●LEDや省エネ、断熱効果の高い素材の使用など環境面に配慮し、省エネ効果の高い仕様とします。